



# 帯結び

(二重太鼓)



※個人・流派等により着方・道具が異なる場合がございます。

1



て先を、輪を首側に向け左肩に掛け、みぞおちに合わせピンチで留める

2



左手を腰に当て、親指で「て」を押さえる。

3



そのまま親指を軸にして帯を折り上げる。

4



左手の親指で帯を押さえたまま帯を巻いていく。

5



胴にひと巻きし、左手の親指で帯を押さえたまま、帯の下線を持って右脇でぐっと締める。

6



ふた巻き目に帯板を入れる。

7



左手の親指を元に戻してふた巻き目を巻き、⑤同様右脇でぐっと締める。

8



て先を押さえていたピンチを外し、たれと前帯を留める。

9



て先を肩から外し、背に倒す。

10



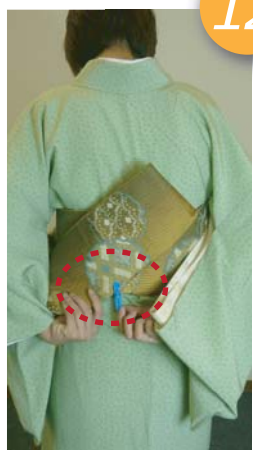
右手で、て先を持ち、右脇まで引く。

11



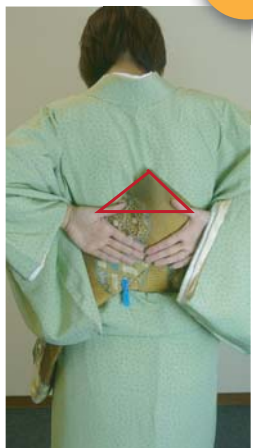
左手で、て先を斜めに引き、帯の下線と交わる位置を見つめる。

12



交わった位置で3枚(て先と帯)をピンチで留める。

13



帯の上でできた三角を、両手の親指で、ぐっと帯の中に入れ込む。





14



たれ先を三角形に折り、帯枕の山が上を向く様、上の当りに当てる。  
※予め帯揚を掛けておく

17



そのまま帯の上線にのせて帯枕を背中にしっかりと当て、枕の紐を両脇でぐっと下に引く。

15



帯枕がずれないようにして、たれをきれいに二重にしてかぶせる。

20



帯枕の下をざっと平らに整える。

24



右手をお太鼓の中に入れ、てを先の方から通し、2〜3cm出す。

21



帯のたれに仮紐を当てる。

25



お太鼓に帯メを通し、両脇でぐっと引いてから、しっかりと結びます。

18



帯枕の紐を結び、両脇から中心の順に帯の中に入れ込む。

22



指の感覚で左右同じ高さにピンと張り、人差し指で内側に折り上げ、下線をつくる。

26



仮紐を外し、帯揚をきれいに結びなおす。

16



右手で帯枕ごと帯山の中心を持って後ろに回し、両手で水平に持つ。

19



帯揚を前であらげ、帯の中に差し込んで仮留めしておく。

23



お太鼓のたれを人差し指一本分の長さを整え、仮紐を前で結ぶ。

27



慣れるまでじっくり復習してみましよう♪